

親子工場見学会～うずら卵のルーツを探ろう～を開催しました

今年、新たに食育支援事業として、親子工場見学会を開催しました。この事業は、学校給食で使用されている食材がどのようにして製造されているのかを学習するもので、今年度は子どもたちにも人気のあるうずら卵のルーツを探りました。愛知県教育委員会の後援で8月20日(木)にうずら卵の缶詰を製造している天狗缶詰(株)三河工場(豊川市)と、うずら卵の産卵場(養鶉農家^{ようじゆんのうか})、うずら^{かえ}を孵す人工ふ化農家の3ヶ所を県内親子16組32名で巡りました。参加された親子は、愛知県がうずら卵の産出額が全国第1位で約70%のシェアを占めていることや、うずらの誕生からうずら卵が製品になるまでを実際に目で見て学習することにより、学校給食の食材の過程や地場産物の知識を高めていただきました。

参加者からは、普段見ることのできない工場内を見学できたり、写真でしか見たことのないうずらを見ることができたり、うずらの誕生からうずら卵の工場までの流れがよくわかり、とても勉強になりましたなどの感想をいただきました。参加された親子も、かわいいうずらを見て笑みがこぼれていました。



天狗缶詰(株)



養鶉農家(うずら卵の産卵場)



人工ふ化農家

